

府川 豊

やまきたまち 議会 だより

議会のおと



歴史受け継ぐ豊店 府川さんご一家
(関連記事は裏表紙に)

- P2 … スケートパーク誕生へ
～子どもたちの声がかたじけなく～
- P7 …… 先進地を学び、活かす「県外視察」
- P11 … もっときかせて山高生の声



令和5年 第4回定例会

新たな遊び場の誕生!

令和5年第4回定例会を12月5日(火)～6日(水)で開催しました。

主な議題は条例改正、補正予算、人事案件等を審議しました。

◆一般質問は6名の議員が登壇しました。(4～6ページに掲載)

一般会計補正予算 1億7814万円増額

《一般会計補正予算》

ぐみの木近隣公園 子どもたちの声が形に

スケートパーク整備
への経緯は。

スケートパーク施設
等の詳細は。

都市整備課長 令和5年春 都市整備課長 ぐみの木近
先に4～5名の中学生か 隣公園内の憩いの広場に面
ら、スケートボードをやる 積360㎡、四方を1m
場所を作って欲しいと要望 のフェンスで囲み、カラー
があった。 アスファルト舗装、高さ40
小中学生にアンケート cmのレールを含むセクショ
を実施し、小学生約40%、ン(ジャンプ台) 5基を設
中学生の約20%(合計約 置する予定。
170名)がスケートボー 事業費2160万円は
ド等をやってみたいとの結 すべて一般財源。
果を受け、ぐみの木近隣公 また、安全対策として利
園内にスケートパークを整 用規定看板を設置し注意喚
備することになった。 起をする。
アンケートなどを参考に 近隣からの利用者も見込
備品購入も予定している。 める。
*利用料は無料。

スケートパークとは?

スケートボードなど、舗装された路面を利用するストリートスポーツを行う専用の施設。

近年、日本でもこのようなスケートパークが建設されはじめ、幅広い年齢層の愛好者に利用されている。



ぐみの木スケートパーク完成イメージ

ナラ枯れ被害対策

ナラ枯れ被害木伐採工
事費1200万円の詳細は。

農林課長 令和5年に34本の被害木を伐採済みで、共
和清水線と町道市間線で6
本の被害木を伐採する予定。
年度内に合計40本を伐採
する。

防災対策強化へ

防災備品購入費
200万円の詳細は。

福祉課長 社会福祉費寄付
金を活用して、町内の災害
時受け入れ協定締結事業所
7か所に防災資機材を支給
するもの。

今後、各事業所にアン
ケート調査を実施し必要
な資機材を取りまとめ
いく。

要配慮者利用施設ご
との避難確保計画の策
定状況は。

地域防災課長 地域防災計
画に記載されており、令和
5年度から、避難確保計画
の策定を推奨している。
今後、各事業者に寄り添
いながら避難確保計画策定
の支援をしていく。



り、増額補正するもの。
 2982件の見込みとな
 当初予算で、2642
 件と見込んでいたものが、
 が増えたものと考えら
 高額介護サービス費の件数
 担する方が増え、結果的に
 い基準額が上がり、自己負
 保険健康課長 法改正に伴

高額介護サービス費
 の増額の要因は。

介護保険事業

《特別会計補正予算》

議案等審議の結果

第3回 臨時会 (11月24日)

件名	審議結果	件名	審議結果
一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例 ・令和5年の人事院勧告に基づき、任期付職員の給与を改定するもの	可決	令和5年度下水道事業特別会計補正予算(第2号) ・人事院勧告等に伴う人件費の補正をするもの	可決
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・令和5年の人事院勧告に基づき、職員の給与を改定するもの	可決	令和5年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号) ・人事院勧告等に伴う人件費の補正をするもの	可決
令和5年度一般会計補正予算(第7号) ・人事院勧告等に伴う人件費の補正をするもの	可決	令和5年度水道事業会計補正予算(第1号) ・人事院勧告等に伴う人件費の補正をするもの	可決
令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) ・人事院勧告等に伴う人件費の補正をするもの	可決		

第4回 定例会 (12月5日～6日)

件名	審議結果	件名	審議結果
課設置条例の一部を改正する条例 ・令和6年4月1日より下水道事業を公営企業会計へ移行することに伴い、改正するもの	可決	令和5年度一般会計補正予算(第8号) ・主に住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付事業及び、ふるさと応援寄附金に係る歳入歳出の増で、歳入歳出それぞれ1億7814万円を増額し、予算の総額を60億2938万円とする	可決
個人情報の保護に関する法律施行条例の一部を改正する条例 ・令和6年4月1日より下水道事業を公営企業会計へ移行することに伴い、改正するもの	可決	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) ・主に健康診査に係る増で、歳入歳出それぞれ254万円を増額し、予算の総額を2億361万円とする	可決
行政手続条例の一部を改正する条例 ・令和6年4月1日より下水道事業を公営企業会計へ移行することに伴い、改正するもの	可決	令和5年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号) ・主に高額介護サービス費に係る増で、歳入歳出それぞれ348万円を増額し、予算の総額を13億1506万円とする	可決
職員定数条例の一部を改正する条例 ・令和6年4月1日より下水道事業を公営企業会計へ移行することに伴い、改正するもの	可決	副町長の選任 ・山崎佐俊副町長の辞職に伴い、選任するもの「石田浩二」氏	同意
特別会計設置条例の一部を改正する条例 ・令和6年4月1日より下水道事業を公営企業会計へ移行することに伴い、改正するもの	可決	教育委員会教育長の任命 ・石田浩二教育長の辞職に伴い、任命するもの「水野博文」氏	同意
水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 ・令和6年4月1日より下水道事業を公営企業会計へ移行することに伴い、改正するもの	可決	議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例 ・令和6年4月1日より下水道事業を公営企業会計へ移行することに伴い、改正するもの	可決

問 歴史文化かおる まちづくりの創出を

答 持続可能な継承の 実現に努めていく

Q 「湯触のさかき」と「鼓掛の紅葉」が指定解除になった経緯と理由は。

答 「湯触のさかき」は、平成10年8月にゴマダラカミキリの被害にともなう腐朽菌が原因で衰弱し、翌年枯死した。「鼓掛の紅葉」は平成10年の大雪により太い枝が折れ樹勢が低下し、その後ならたけ病の侵入により枯死した。

Q まちづくりと観光誘客のため活用・推進していく施策はあるか。

答 SNSでの映像による周知など、より知っていただけの施策や活用方法を所有者や保護団体とともに取り組んでいく。

Q 文化財の多面的活用と魅力向上の観点からネットワーク強化を図ることは可能か。

答 若い世代の方に、山北町の歴史を十分理解してもらえよう地域全体で共通認識し、持続可能な継承等の実現に努めていく。



たかはし じゅんこ
4番 高橋 純子 議員



動画はこちら

Q ボランティアガイドの育成や標柱等のデザイン統一化、デジタル技術を活かしたPR事業に取り組んでは。

答 文化財ガイド友の会にガイドをお願いするほか、地域文化遺産活性化実行委員会でガイド育成講座を実施している。統一的なデザインや多言語化についても整備・充実に向け取り組み、先端技術の活用にも研究・検討していく。

問 災害に強い安全安心の まちづくりを

答 あらゆる場面を想定して 逐次取り組んでいく

Q 自主防災組織強化の取り組み状況は。

答 連合自治会長に地域の特性を生かした組織編成を提案した。今後も各地域の実情に応じた自主防災組織の見直し・強化に支援をしていく。

Q 総合防災訓練の検証結果をどのように捉えているのか。

答 避難所の開設・運営に関して、職員と自主防災組織が協同で開設・運営等できることが確認できた。避難行動に関する避難要領の周知や、避難所用備品の整備・更新に関する対応などの必要性が明らかになった。これまでの成果を踏まえ連合自治会と調整を図っていく。



わだ あきのり
1番 和田 成功 議員

Q 災害に強い安全安心のまちづくりの推進に今後どのように取り組んでいくのか。

答 山北町総合計画と山北町国土強靱化地域計画を基礎として、地域防災計画等々、ソフト・ハードあらゆる場面において、逐次取り組んでいく。心構えや備えなど、広く正しく周知・啓発をするとともに、実効的な訓練を継続し、防災意識の高揚に努めていく。



動画はこちら



総合防災訓練の様子(山北中学校)

答 町民アンケートやワークショップで得た10年後の町の将来像をまとめ、総合計画審議会に諮りながら進めている。基本構想と基本計画の2層構造を基本とし、令和6年4月からスタートする。

Q 計画策定までのプロセスと現在の進捗は。

問 山北町第6次総合計画 策定に向けて

答 10年後の将来像を描き 策定を進めている



スマートICを拠点とした計画はこの先10年の最重要課題

Q 計画策定の基本となる「バックキャストイング」手法とは何か。



こだま よういち 議員
11番 児玉 洋一

答 目標とする将来像を先に描き、それを実現する道筋を現在にさかのぼる手法で、6次総合計画から取り入れて策定している。

Q 第5次総合計画の検証結果は。



動画はこちら

答 計画に位置付けられた施策・事業ごとに担当課で進捗率や今後の必要性を検証してきた。全427事業があり、約72%の平均進捗率となった。

Q 身内に評価が甘いのでは。検証方法を見直してはどうか。

答 計画策定時だけ評価検証を行うのではなく今後、第三者を入れた検証など、新たな評価検証方法も検討する。

問 1.今後の文化継承で町の活性化を 2.より踏み込んだ定住対策に向けて

答 1.強固な体制を整えていきたい 2.新たな施策を展開していきたい

Q 山北のお峰入りについて、具体的な取り組みは。

答 連絡協議会は継続したいと考えており、保存会においても、演者の育成など準備をお願いするとともに、それぞれの役割の中で、さらなる強固な協力体制を整えていきたい。

Q 文化、芸能、伝統を町へ活かす方法や取り組みは。



いけや きみひろ 議員
2番 池谷 仁宏

答 山北のお峰入りなどユネスコ無形文化遺産をはじめ、町は国・県の指定を受けた魅力ある文化財の宝庫である。課題の洗い出しや先行事例の調査などを行い、町活性化や観光振興へ繋げる方法を検討していく。

Q 新たな定住対策の取り組みは。



動画はこちら

答 現在策定作業を進めている第6次総合計画との整合性を図りながら、今までの効果等を検証し、町の活性化につながるような施策を展開していきたい。



空き家見学ツアーの様子

問 1. 地域の防災・減災対策は
2. 地域公共交通計画の進捗状況は

答 1. 地域防災計画を進める
2. 計画素案で検討する

Q マイタイムライン
(※)の活用と、避難者の
受け入れ態勢の整備は。

答 浸水想定区域で、マ
イタイムラインの作成・
活用は有効と考え、防災
ハンドブックやホーム
ページに掲載し普及・啓
発を図っていく。
避難者を迅速・正確に
受け入れるシステムでマ
イナンバーカードの活用
は課題がある。



おの の たつ や
6番 大野徹也 議員

Q 大規模地震で孤立
した地域への支援は。
また、停電後の通電
火災対策として感震ブ
レーカー設置への支援
も必要では。

答 指定した災害ヘリの
臨時発着陸場での救助活
動で支援する。
感震ブレーカーの設置
の支援は、今後研究する。

Q 富士山火山災害対
策計画を基礎とした避
難計画の策定は。

答 神奈川県富士・箱根
火山対策連絡会議の溶岩
流ワーキンググループの
進捗状況に応じ策定を検
討する。

Q 地域公共交通計画
の進捗と、交通システ
ム広域連携の参加の考
えは。

答 現在、計画書の全
体像が分かる計画素案
について検討中であり、
今後の会議で最終確認
する。広域連携は慎重
に検討する。



動画はこちら

※マイタイムライン
とは
住民一人ひとりの行
動計画であり、災害時
に、自分自身がとる標
準的な防災行動を時系
列的に整理し、命を守
る避難行動のための一
助とするもの。

問 住民監査請求棄却に関する
町長コメントの検証

答 合理的な契約を行ったが
配慮が足りなかった

Q 住民監査請求棄却
に関する、町長コメン
トの適切な判断とは。

答 契約を交わすため
様々なことを行ったが、
私としては、間違いな
いことをしており、町に不
利益を与えたわけではな
く、適切な契約をしたと
考える。



ふか わ て る お
8番 府川輝夫 議員

Q ふるさと納税包括
業務の1社随意契約(※)
は、合理的でないと言
判断があるが。

答 ポータルサイトを増
やしたいという思いから
進めたが、配慮が足りな
かった。

Q 適切な契約を、な
ぜ解約したのか。

答 町への誤解や不信感
を与えることを避けた
かったため解約した。

Q 議会に対し、事前
説明をなぜしなかった
のか。

答 議会への事前説明と
いう配慮が足りなかった
が、1社随意契約という
理由で議会に説明するこ
とは、これまで行ってい
ない。



動画はこちら

※ふるさと納税包括
業務の1社随意契
約とは
町の課題である森林
や遊休施設の利活用に
向け、事業実施のため
の財源となるふるさと
応援寄附金の寄附増額
を図るといふ提案をし
てきた事業者を相手と
して特定した契約。

総務環境 常任委員会

10/23 ▶ 24

- ①山梨県小菅村
「ドローン事業の取組み」
- ②群馬県甘楽町
「スマートIC開設に伴う周辺土地利用」

①空飛ぶ物流サービス

ドローンを含むデジタル分野は、目まぐるしいスピードで進化しています。

特に物流・運送業界を脅かす2024年問題は、官民が連携して取り組んでいかななくてはならないと感じます。

山梨県の山間部人口700名ほどの小菅村では、こうした危機感に対応し、空き家空地を活用したドローン拠点を整備し、荷物を積んだドローン物流の実証実験が進められています。



ドローン物流は山間地域を支える重要な物流サービス

②官民連携で将来計画を

甘楽スマートICは、平成27年の設置要望当初から、周辺土地利用構想の協議会を発足し、企業誘致を含む将来計画が描かれていました。当町も、令和9年の開通を見据え、周辺土地利用のあるべき姿を示す時期です。

行政単独ではなく、官民連携を図りながらスピード感を持った取組みを進めていけるよう、委員会としても引き続き調査研究に努めます。

福祉教育 常任委員会

11/7 ▶ 8

- ①栃木県高根沢町
「児童館運営事業・高齢者支援事業・産科誘致事業」
- ②栃木県那須烏山市
「高齢者ふれあいの里事業」

①環境整備と住民理解

児童館運営では、就学前の子どもたちが健やかに成長できるように、適切な相談や助言等の支援拠点事業が充実しています。

また、高齢者支援の「高齢者サービス案内」は、誰がどんなサービスを利用できるかわかりやすくまとめた冊子を作成し、行政を主体に対象者周知への取組みがしっかりと図られ、住民理解が進んでいると感じました。

②地域住民のチカラ

高齢者ふれあいの里は、市が自治会等に委託する介護予防事業です。

地域住民が地域の高齢者を支え、笑顔あふれる居場所づくりに知恵を出し合う姿には感銘を受けました。

「健康長寿でいつまでも住み続けられるまちづくり」をめざし、委員会としても引き続き調査研究に努めます。



笑いの絶えない支えあいの姿にホッコリ

広報研修レポート

「町民目線で紙面づくりを」

近年、コンプライアンスの意識が高まりつつある中、広報紙を発行する紙面のイメージや信頼が失われるようなことがあれば議会の存続にも大きく影響してきます。

今回の講義では基本的なものに著作権や肖像権など聞き慣れた言葉もありましたが、法との適合性と照らし合わせながらリスク対応することが大切だと学びました。

デザイン講座では情報デザインとターゲットについてわかりやすい3つの基本 企画力 編集力 デザイン力を磨く内容でした。私たちがつくる「議会のおと」が町民の皆様の「知りたい!」にむかっていくには、広報紙のあるべき姿を町民目線で継続していくことが必要であると感じました。

(記) 高橋 純子

令和5年度 町村議会広報研修会

令和5年9月27日(水) 13:00～17:00
会場: 日経ホール

- 「広報担当者が知っておきたい法律知識」
弁護士 玉置 菜々子氏
- 「なるほどそうか…知ってよかった!」
読者を夢中にさせる広報紙づくり基礎の基礎!
株式会社フォーチュングラフィックス
代表取締役 白木 一誠氏
- 「パッと伝わる議会広報紙に!」
やっつけられないデザイン講座
グラフィックデザイナー 平本 久美子氏



「関心を持たれる広報紙に」

議会も新体制となりまもなく1年、広報紙作成においては、広報モニターのご意見も参考にさせていただきながら、これまで何度も編集作業のノウハウを学んできました。

今回、広報クリニックという形で「議会のおと」をプロの目で監修、以下の総評をいただきました。

- ・コミュニケーションカを感じる広報である
- ・わかりやすい見出しが好印象である
- ・広報モニター、おしゃべりカフェなどの広聴活動も充実している
- ・色帯など新聞風のデザインは改善が必要である
- ・巻頭特集などの継続に期待したい

今後も新しい技術を取り入れながら、さらなる議会広報紙の向上に努めるとともに、身近で関心を持たれる議会となるよう精進してまいります。

(記) 児玉 洋一

令和5年度 足柄上郡町村議会議長会 「広報委員研修会 広報クリニック」

～身近で関心をもたれる議会へ～

エディター 広報アナリスト 吉村 潔氏

令和5年12月19日(火)

13:30～16:30

会場: 開成町役場 2階 ABC 会議室



》 研修会レポート・おしゃべりCafe

令和5年度
町村議会議員研修会

「若々しい高齢者
であるための行動学」

順天堂大学特任教授 天野 篤 氏

令和5年11月17日（金）
14：00～15：30
会場：葉山町福祉文化会館



(※) フレイルとは
加齢により心身が古い衰えた状態

「フレイル予防で100年人生」

健康寿命と平均寿命が少しずつ近づきつつある昨今、いつまでも若々しく元気な高齢者であるためにはどのような行動が必要なのか。専門的な観点から以下の行動が必要であると伺いました。

- ・今からフレイル予防（※）を心がける
- ・特定健診や人間ドックも有効に使ってほしい
- ・一日7000歩を目指す
- ・四季の変化を感じられるような散策を
- ・ドカ食いはダメ!
- ・良い睡眠と趣味を持つ

時折耳の痛いお話もありましたが、「スローライフを送り価値のある一年を生き生きと過ごしてください」とエールをいただきました。

健康長寿のまちづくりのために議会もしっかりとフレイル予防事業にも注視してまいります。 (記) 高橋 純子

やまきた町議会 おしゃべり Cafe

当日は強風吹き荒れる中でしたが、お買い物を済ませた町内外からのお客様から、多くの貴重なご意見を伺いました。



※当日の様子など記載したおしゃべりCafe通信はホームページでご覧いただけます。



10/20 小田原百貨店前広場

- ◆県道76号線沿い（特に丹沢湖周辺）のトンネルの落書きを何とかしてほしい。
- ◆丹沢湖から北や西へ抜ける道はスマートICと抱き合わせで検討していくべき。
- ◆山間部の避難所への移動は車が必須。ルート確保はしっかりと周知しておくべき。
- ◆山北町の人柄が素敵。移住を検討したい。
- ◆町設置型浄化槽事業の個人払い下げの考え方はおかしい。
- ◆小田原百貨店は地域コミュニティの場所として大変ありがたい。
- ◆お峰入りの時は健康ウォーキングやD52フェスティバルとの同時開催で人出がすごかった。今後、色んな行事やイベントの際は、他のイベントとタイアップすればもっと盛り上がるのではないかな。

No.215議会のおと 広報モニターアンケート

12名の議会広報モニターの皆様から、前号のアンケートに回答していただきました。毎回沢山のご意見、ご指摘やアイデアをいただき、すぐ取り入れられるものは早速編集に活かしております。すべてのご意見を載せられず残念ですが、一部をご紹介します。

“みなさんの声で 議会のおとが もっと身近に”

多様な声がつくる議会だより

モニターの方の声を聴き、住民が何に興味があるのか、何を求めているのか、議会だよりを活かし、より住みよい町にしていきたいと考えています。

～表紙・裏表紙～

表 紙の一人ひとりの表情が、笑顔で活
力に溢れています。
山 北町は自然豊かで
子どもたちとアウ
トドアやスポーツを楽
しみながら生活できる
所だとよくわかる。
テ ーマに対応する方
をどのように選ん
でいるのか不透明である。

～町民 VOICE のページ～

高 ず 町 楽 今

までになかった新しいコーナーで興味を感じました。
しかったです。
民の顔と声が見えてとてもいいですね。
つと続けたら良いと思います。
校生の声も良いと思います。あるいは、もっとお年寄りの方などの声も。



～その他ご意見～

全 体のレイアウトが変
わって見やすくなり
ました。
個 人的に以前より、活
字の文字がすくなく
なり視覚的な面で読みやす
くなっていると思う。
編 集委員のつづやきを
もっと見られるとい
います。どんな事を考えて
いるのか見たいです。



←これが QR コード
スマホのカメラで読み取ると紙面等を見ることができます。
※全集計結果はホームページに掲載しています。

もっと まかせて 山高生の声



移住者を増やす取組みを
もっと積極的に。

町内の観光スポットや飲食店
をスタンプラリーで巡り、コンプ
リートした人に特産品や施設
割引券などを提供してみたら
どうだろう。



町の活性化に向けて、
SNSなどを活用して、もっと
PRをはかるべきでは。

令和5年10月26日、昨年に引き続き県立山北高校
3年生の「総合的な探究の時間」の授業に広報広聴
委員会のメンバーが参加しました。
山北町のこれからを考えるにあたり、高校生の視
点からいくつも課題や質問など、熱いご意見を聴く
ことができました。

町の木材を活用した
特産品の開発を進め
てはどうか。



高齢者に対する移動
手段は早急に対応す
るべきでは。

御殿場線の本数を増
やしてほしい。

生きいきひろば

八代目の責任と仲間の刺激

岸地区在住 府川 智之さん



私は、代々200年以上続く
畳店に生まれ、先代の背中を見
て育ち、現在8代目として山北
町岸に作業場を構え日々頑張っ
ております。

山北町の土地柄として、由緒あるお寺や古くからの
お屋敷が多く、昔ながらの畳を好まれるお客様が居ら
れますが、一方でこれからは若い方にもアピールでき
るような考えも必要だと感じておりました。

そんな中、商工会青年部に声をかけていただき何気
なく活動に参加しましたが、山北町にはこんなにもパ
ワーのある若い方が居られるのかと驚いてしまいま
した。

このたくさんの方の部員たちでなければ得られない刺
激を自分の力として、またこれからの山北町を明るく
未来のある町として盛り上げられるよう少しでもお
手伝いしていきたいと思っております。



議会をより身近に感じてもらえるよう
に、アフターコロナを生き抜く町内事業
者や様々な活動をされている方の家族写
真を表紙のテーマとしています。



議会の傍聴においでください

第1回定例会(予定)

3月4日(月)~

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ
議会事務局

75-3653

町議会

YouTubeチャンネル

一般質問などの動画を配
信していますので、チャ
ンネル登録をお願いします



- | | | | | |
|----|----|----|----|----|
| 富田 | 高橋 | 和田 | 池谷 | 児玉 |
| 陽子 | 純子 | 成功 | 仁宏 | 洋一 |

編集メンバー

編集委員のつぶやき



ユネスコ無形文化遺産に登録された山北の
お峰入りには多くの方がお越しいただきまし
た。駅前では道行きをご覧になる方で賑わい、
飲食店においては入店待ちも出る状況でした。

来たる2月11日(日)には海老名市で行
われる県主催のリ・古典で、山北のお峰入り
が披露されます。また、小田急線車内ではP
R動画が流れる予定です。

今回の公演は5年後の予定となりますが、
町活性化の一つとして活用していくことが何
より重要だと考えます。

山北町の誇れるものが増えたことを演者の
私としても嬉しく思います。(記) 池谷 仁宏